

開講講座表の見方について

次ページからの「開講講座表」の見方について、説明します。

【例】開講講座表

カリキュラム年度別科目名				令和4年度開講講座表										
R03年度以降入学者		H29～R02年度入学者		◆担当者	◆場所	◆曜日	◆時限	◆時期	実施形態	事前登録	指定	再履修	履修登録制限等	備考
学年	授業科目	学年	授業科目											
1	國學院の学び(00001)	1	國學院の学び(00001)	國學 太郎	渋谷	金	—	前期	オンデマンド型					
1	アカデミック・リテラシーⅠ	1	基礎日本語	國學 花江	たま	月	3	前期	対面型授業	○				
1	神道と文化	1	神道と文化	國學 二郎	渋谷	月	4	前期	ライブ配信型		○		日本文学科対象	

1. 授業科目

- ◆ カリキュラム年度によって、授業科目名が異なる場合があります。自分のカリキュラム年度の授業科目名を参照してください。

2. 実施形態

- ◆ 授業の実施形態を記載しています。【対面型】として、「対面型授業」「ブレンド型授業」「ハイフレックス型授業」、【遠隔型】として「ライブ配信型授業」「オンデマンド型授業」があります。

3. 事前登録

- ◆ 授業科目には教育効果を高めるために、受講人数の制限がある科目があります。登録方法が事前登録となっている科目は「事前登録」の欄に「○」が付されています。
- ◆ K-SMAPY II 「抽選希望登録」メニューまたは指定された登録方法で登録を行ってください。

4. 指定登録

- ◆ あらかじめ K-SMAPY II 上に登録される科目は「指定履修」欄に「○」が付されています。K-SMAPY II 「学生時間割表」で確認してください。

5. 再履修

- ◆ 履修要綱等で制限がある場合を除いて、過去に不合格となった科目であっても再度履修登録をすることが可能です。
- ◆ 各学部・学科において必修科目のもので、再履修者が登録すべき科目には「再履修」の欄に「○」が付されています。再履修科目が用意されている場合、再履修者はその科目を履修する必要があります。
- ◆ 必修科目で再履修科目がない場合は、正規の授業を登録してください。

6. 履修登録制限等

- ◆ K-SMAPY II の履修登録において、表示されない科目には何らかの制限が設定されています。履修登録するにあたり、制限が設けられている科目には、「履修登録制限等」欄にその旨が記載されています。
- ◆ 一部の科目は、所属学部・学科・学年によって制限があります。開講講座表で指定を確認の上、自分の所属の指定された科目を履修する必要があります。

7. 開講講座表の変更について

- ◆ 開講講座表に変更が生じた場合は、WEB 時間割に掲載の開講講座表が更新されます。WEB 時間割では最新の情報が掲載されますので、確認しながら履修登録を行ってください。